

気軽に読める暮らしのネタ

イノス MANSLRY

INOS
Monthly



News Letter
2018.8 月

Vol.195

夏こそ節電！

徹底解説・エアコン省エネ術

夏に気になるエアコンの電気代。いろんな省エネ術が紹介されていますが、中には間違いや情報が古くて効果がないものも。最新の省エネ術をご紹介します！

○気温が低い朝のうちからつける

「エアコンは暑さを我慢しきれなくなってからつける」という人が多いかもしれませんが、実はこれは大きな間違い！ エアコンが最も電気を消費するのは「部屋を設定温度に冷やすまで」なのです。そのため、つけ始めのときに外気温と設定温度との差が大きいと、それだけ多くの電力を消費してしまいます。

部屋が冷えてから保つために使う電力はとて少ないので、猛暑になりそうな日は、朝の涼しいうちからエアコンをつけておきましょう。

○2時間程度の外出ならつけっぱなしがお得！

「外出したり、部屋を移動するたびエアコンを切る」という人も多いですね。実はこれも間違い。暑くなった部屋を冷やすためには多くの電力を使います。そのため、1～2時間程度ならつけっぱなしの方が節電になります。

その他のテクニックとしては、

- ・ フィルターをこまめに掃除する
- ・ ドアや窓の開閉を減らし部屋の気密性を高める

などがあります。エアコンの“新常識”を知って賢く節電しましょう！

昔ながらの日よけで

ギラギラ日光を遮ろう

今年の夏は全国的な猛暑だといわれています。省エネ術を実行したとしても、電気代が心配。そこでおすすめしたいのが、窓辺の日光を遮ること。ちょっとした工夫で涼しい夏が過ごせるんです。

○昔ながらの日よけがエコ

日差しを遮るだけなら、遮光カーテンやブラインドがありますが、今あるものを替えたり取り付けたりするのは面倒。そこで、昔ながらの「すだれ」と「よしず」をおすすめします！

すだれやよしずは取り付けが簡単で手軽に使用でき、しかも電気代を使わずエコな優れものです。

○すだれとよしずの違いは？

どちらもプラスチック製商品もありますが、基本的にすだれの原料は竹、よしずは葦です。

すだれは少し小さめで、吊り下げて使うため、風に揺られる様子も涼やか。奈良時代から日よけや目かくしとして使われています。フックやカーテンレールを利用して、室内に吊るしましょう。

よしずは6尺(約180cm)が基本サイズ。目が詰まっていて日よけ効果は抜群です。さらに、よしずは水を吸うため、水をかけておくと蒸発するときの気化熱で熱を奪ってくれるという、打ち水のような効果も。ベランダなどに立てかけて使います。

省エネ術と昔ながらの日よけの活用で、エコで涼しい夏を過ごしませんか？

全国に広がる家づくりネットワーク

INOS

イノスグループ

株式会社 創建

幸田町大字菱池字下田9番地1

TEL : 0564-62-7700